

## 地中海マルタ共和国画行

二科会員 武藤挺一

2013年6月ドバイ経由でマルタ島に、二週間。

1565年ヨハネ騎士団とマルタ島人民合せて8000名に対しオスマントルコ40000名の戦いが半年間繰り広げられ、騎士団と住民の勝利に終わった。スペインの無敵艦隊がイギリス艦隊に破れ、ローマカソリックの十字軍旗印の影が、かすかに残った戦いだったことなど、マルタ島行きを決めてからの学習。

ツアーなのだが8日間は自由行動で二日間はガイドツアー、三日間がエミレーツ航空機内と待ち時間の旅だった。一人行動は苦手なのに仲間なしの旅。どうなることやらと心配していたら、ツアーの中に絵を描く人がいてグループができ、東京からヨーロッパ行の知人グループが丸二日間同じホテルに来ることになりヤレヤレ。

エミレーツ機内持ちこみは30キロ、

EUやイギリス経由は20キロ。今回はF6キャンバス布10枚に10号キャンバス2枚とホチキスと布張り機、98円の味の素パックおかゆ10個とかカゼイン液体ペットボトル一本とか顔料10種類以上を積みこめた。鯖の水煮カンズメもついでに一個。なにしろ朝食0昼2回夕3回のツアー

島は石が全部、これほど自分の画法に適している場所はない、空は青く地中海は群青。地中海の青が長屋式の家も協会も城塞も砦も美しく映え白く光っていた。

数十年前チュニジアに行ったときに地中海の青と家々の白さの美しさに驚いた。その記憶が蘇った。

帰ってきてから。今は地中海の島々へ行ってみたい。石色が違う本物の砂島々の風景。ギリシャ人やラペルシャ人達の歴史が刻まれた島々の風景。

マルタ島で砦の下に砂になった石で描いた風景は、自分のカゼイン画法にあった絵ができつつあると思った。

ようやく自分の世界を見つけられるかも知れない。70なって自分を発見？絵の世界も難しい。